

環境に関する市民アンケート調査結果

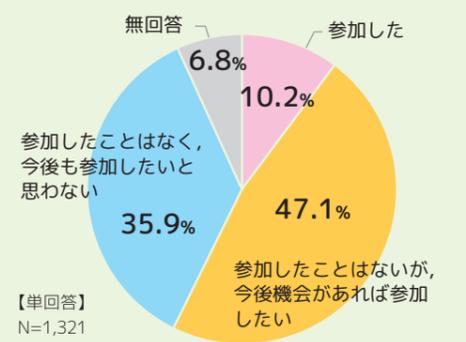
調布市では、調布市環境基本計画等の見直しに向けた基礎資料とするため、令和元年度に環境に関する市民アンケート調査を行いました。調査にご協力をいただいた皆さま、ありがとうございました。調査結果の一部を抜粋してご紹介いたします。詳細は右のQRコードから市HPをご覧ください。



環境保全に関わる活動への参加について

- ここ1年間に、地域の環境活動に「参加した」回答者は約1割でした。約半数が「参加したことはないが、今後機会があれば参加したい」と答えており、関心は高くなっています。
- 「参加した」、「機会があれば参加したい」人の関心は、「地域の清掃・美化活動」で高くなっています。

ここ1年間における地域の環境活動への参加状況



「参加した」「参加したことはないが、今後機会があれば参加したい」人が参加した活動・関心のある活動



調査対象 | 調布市に住民登録をしている満16歳以上の市民3,000人（住民基本台帳より無作為抽出）
調査期間 | 令和元年（2019年）10月12日～10月27日 回収結果 | 有効回収数 1,321件 ・ 有効回収率 44.0%

市では、アンケート結果を受け、「機会があれば参加したい市民へのアプローチの強化が必要」と考えています。新たな環境活動への参加者を増やすための具体的取組について、ぜひ皆さんのアイデアをお聞かせください。

参加対象の方、申込み・送付方法について

次の内容をご記入の上、メール、FAXにてお申込みください。
「メール等でのアイデア募集」を希望の方は郵送も受付ています。
申込締切日は、1ページをご確認ください。参加費は無料です。

参加対象者	市内在住・在勤・在学の方、市内で環境保全活動などを行っている方
記載事項（全て共通）	・参加希望内容（メール等でのアイデア募集）（対面型ワークショップ）（オンライン座談会） ・参加者氏名 ・住所 ・当日の連絡先（電話番号）
対面型ワークショップに参加希望の方	・関心のあるテーマ（①里山環境の保全 ②ストップ地球温暖化 ③環境保全活動の体験）
オンライン座談会に参加希望の方	・メールアドレス

宛先 | 〒182-8511 調布市小島町2丁目35-1 調布市環境部環境政策課環境保全係
メール | kanky@w2.city.chofu.tokyo.jp FAX | 042-481-7550

調布市では、調布市環境基本計画等の改定について、「調布市環境基本計画等改定ニュースレター」を通じてお知らせしていきます。



調布市環境基本計画等改定 ニュースレター

第2号

令和2（2020）年
9月発行

刊行物登録番号
2020-118

調布市環境基本計画・調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定に向けて

未来につなぐ調布の環境 ～みんなで作ろう これからのちょうふ～

調布市では、環境施策を束ねるマスタープランである「調布市環境基本計画」と、市民・事業者・市が市域の地球温暖化対策を推進するため策定した「調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の改定作業を進めています。

このたび、with コロナの環境の中で、多くの市民の皆さんから今後の環境に関する取組についてのアイデアをいただくため、下記に記載の「メール等でのアイデア募集」、「対面型ワークショップ」、「オンライン座談会」の3つの市民参加の手法による企画を開催することとしました。

ご参加
お待ちしております



テーマ | テーマは、国や東京都の環境施策の動向や、昨年度実施した「市民アンケート調査」、「対面型ワークショップ」等から整理し設定しています。

① 里山環境の保全



豊かな水と緑でつくられた里山の魅力を発信し、保全活動への参加の環(わ)を広げるには？

② ストップ地球温暖化！新たなライフスタイル



温室効果ガスの排出が少ない、新たな調布らしいライフスタイルとは？

③ 環境保全活動の体験



活動未経験の方に環境保全活動に関心を持ってもらい、参加しやすくするには？

開催・実施内容

募集期間 10/5（月）～10/22（木）	メール等でのアイデア募集 市HP(右上 QR コード)上の資料をご覧ください。①～③のテーマについてアイデアをお送りください。 ※いただいたアイデアは、対面型ワークショップやオンライン座談会等に活用させていただきます。個別の回答は行いません。	募集人数 20人程度（申込み順） 開催場所 教育会館2階 会議室（小島町2丁目36番地1） 申込締切 10月22日（木）
開催日時 10/24（土） 14:00～16:00	対面型ワークショップ 会場に集まり、①～③のテーマごとにグループに分かれてアイデアを出し合います。	
開催日時 10/30（金） 15:00～16:30	オンライン座談会 パソコンやスマートフォンを使い、ZOOMを活用したオンライン上での意見交換を実施します。	テーマ 「②ストップ地球温暖化！」 ゲストスピーカー 調布市公共施設の屋根貸し事業者「調布まちなか発電㈱」の小峯充史さん ※非営利型事業者です 募集人数 10人程度（申込み順） 申込締切 10月26日（月）

※参加に当たっての注意事項は、右上のQRコードから市HPをご確認ください。

⇒参加対象の方、申込み・送付方法は、4ページをご覧ください。

開催しました!

第1回及び第2回 調布市環境基本計画等改定委員会

第1回 調布市環境基本計画等改定委員会【令和2年7月6日(月)開催】

第1回改定委員会では、調布市のこれまでの環境施策の取組や、国や東京都の取組、国際的な潮流などを踏まえ、計画の見直しの視点等について議論しました。

環境基本計画の改定の視点

持続可能な社会の実現に向けた取組を促進する(SDGs(持続可能な開発目標)、国が提唱する「地域循環共生圏」の考え方)

地球温暖化対策をめぐる動向に対応する(温室効果ガスの更なる削減、脱炭素化、気候変動による影響への適応)

新たな環境問題に対応する(海洋プラスチックごみ問題、食品廃棄物問題等)

調布市のポテンシャルを生かす(身近な水辺・里山及び生物多様性の保全、都市農地の保全・活用、受動喫煙対策等)

市民・事業者の行動を更に促進する

地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の改定の視点

パリ協定後の国、東京都の削減目標を踏まえ、新たな目標を設定する

SDGs(持続可能な開発目標)への貢献、最終到達点としての脱炭素社会を見据えた取組を推進する(再生可能エネルギーの利用拡大、省エネルギー化の促進、水素エネルギーに関する普及促進等)

気候変動による影響への対応(適応策)を進める

温室効果ガス(二酸化炭素)排出量に占める割合の高い家庭、事業所(市役所を含む)における対策を推進する

新型コロナウイルス感染症を契機とした経済・社会システムの変化、「新しい生活様式」を踏まえ対策を推進する

委員からの主なご意見

- ▶基本目標4「低炭素で循環型の社会の形成を目指し実現するまち」としているが、「低炭素」を「脱炭素」に変更するか、今後検討していく必要があるのではないか。
- ▶これまでは「イベントの参加者数」等の、実際に人が集まる数を環境指標として設定しているが、今後は新型コロナウイルスの感染リスクを踏まえ、リモートによる講座の開催等を検討する必要があるのではないか。
- ▶複合的に解決できる施策や取組を検討すると良いと思う。



委員からの主なご意見

- ▶エネルギーは目に見えないため意識づらい。エネルギーの可視化を計画の中に盛り込めたらよいのではないか。
- ▶調布市だけで脱炭素を目指していくことは難しいと思われる。他の自治体と連携・協力して補完し合い、温室効果ガスの排出が少ない実質脱炭素化に近づくという発想が必要だと思う。
- ▶新型コロナウイルス感染拡大により、交通手段やビジネススタイルが変化しているので、計画改定にあたってはそこを加味した方がアイデアが出るのではないか。



調布市
地球温暖化対策
啓発キャラクター
ゴヤたん



調布市では、「調布市環境基本計画」と「調布市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」の改定に向け、学識者経験者・環境市民団体・事業者・教育関係者等で構成する「調布市環境基本計画等改定委員会」を立ち上げました。ここでは、第1回及び第2回の委員会での議論の概要と、委員からの主なご意見を紹介します。

第2回 調布市環境基本計画等改定委員会【令和2年8月7日(金)開催】

第2回改定委員会では、環境基本計画の中間見直しの方向性を中心に議論しました。

調布市環境基本計画の改定の方向性

主な改定のポイント

- 都市農地の保全に向けた積極的な取組
- 受動喫煙対策と連動した都市美化施策の強化
- 国や東京都が将来的な実現を目指す「脱炭素社会」の視点の反映
- 海洋プラスチックごみ問題等、プラスチックを取り巻く国内外の動向への対応
- 食品廃棄物問題への対応
- 災害時廃棄物等の処理
- 子どもたちの環境教育・環境学習の充実
- 環境活動未経験の市民へのアプローチの強化(気軽な参加・体験機会の創出)
- 環境活動の環(わ)の拡大

主な改定の考え方

- ・近年の都市農地に関する様々な制度改正を踏まえ、令和2年3月に策定した「調布市農業振興計画」の施策と整合を図る。
- ・受動喫煙対策と連動した屋外喫煙対策に関する施策を加える。
- ・国や東京都等の動向を踏まえ、将来的な脱炭素社会の実現に貢献していくことを加える。
- ・新たな環境問題である海洋プラスチックごみ問題等のプラスチック対策や、食品ロス対策を加える。
- ・ポイ捨てや不法投棄への対策は、プラスチックごみの海洋流出防止の観点からも重要であることを加える。
- ・「調布市一般廃棄物処理基本計画」(平成31年3月改訂)に位置付けた、適正処理に関する取組内容(災害廃棄物対策等)を加える。
- ・環境教育・環境学習に新たな取組を加える。
- ・令和元年度に実施した環境に関する市民アンケート調査結果において「活動に参加したことはないが、今後機会があれば参加したい」と感じている多くの市民へのアプローチの取組を検討し加える。

委員からの主なご意見

- ▶深大寺・佐須地域の田園風景は、昔から崖線の湧水を水源として成り立っている。都市農地の活用にも、湧水が関わっていることを、もっとアピールできないか。
- ▶環境活動団体も含めたまちづくり、産業、福祉など、他分野の団体との連携も含め、活動の環(わ)の拡大をすると良いと思う。また、このつながりを通じて、環境のことを知ってもらえると良いと思う。



調布市環境基本計画等の改定スケジュール

令和2年度				令和3年度
4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
計画の骨子作成	計画素案のたたき台作成	計画素案作成	計画案作成	改定計画完成
調布市環境基本計画等改定委員会、調布市環境保全審議会				
市民ワークショップ、オンライン座談会、パブリック・コメント、市民への情報発信(市報・市ホームページ・SNS・ニュースター)				

※上記スケジュールは状況により変更となる場合があります。

次回の改定委員会は10月21日(水)に開催します。傍聴の案内はQRコードから市HPをご覧ください。

